

会社概要

|         |   |
|---------|---|
| 会社名     | シンメンテホールディングス株式会社<br>(英文表記: Shin Maint Holdings Co.,Ltd.)               |
| 資本金     | 236,000千円   |
| 上場証券取引所 | 東京証券取引所グロース市場   |
| 従業員数    | 276名(連結)  |
| 本店所在地   | 〒140-0011<br>東京都品川区東大井二丁目13番8号<br>ケイヒン東大井ビル 3F<br>TEL 03-5767-6461 (代表) |
| 創業年月日   | 1999年10月  |
| 事業内容    | 店舗・施設の設備機器及び内外装等の<br>トータルメンテナンスサービス事業を行う<br>子会社の経営管理                    |

役員 (2024年5月24日現在)

|            |       |
|------------|-------|
| 代表取締役会長兼社長 | 内藤 秀雄 |
| 専務取締役      | 村山 政昭 |
| 専務取締役      | 内藤 剛  |
| 常務取締役 CFO  | 大崎 秀文 |
| 社外取締役      | 脇本 源一 |
| 社外取締役      | 山縣 有徳 |
| 常勤監査役      | 荒川 勤  |
| 社外監査役      | 田村 稔郎 |
| 社外監査役      | 吉木 徹  |

株主メモ

|             |  |
|-------------|--|
| [事業年度]      | 毎年3月1日～翌年2月末日まで  |
| [剰余金の配当基準日] | 8月31日<br>2月末日  |
| [定時株主総会]    | 毎年5月中  |
| [株主名簿管理人]   | 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号<br>三井住友信託銀行株式会社  |
| [事務取扱場所]    | 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号<br>三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  |
| [郵便物送付先]    | 東京都杉並区和泉二丁目8番4号<br>三井住友信託銀行株式会社 証券代行部<br>TEL 0120-782-031(通話料無料)   |
| [公告の方法]     | 当会社の公告は、電子公告により行います。<br>https://www.shin-pro.com/<br>但し、やむを得ない事由により、電子公告によることが<br>できない場合は、日本経済新聞に掲載しております。 |

シンメンテホールディングス株式会社

〒140-0011 東京都品川区東大井二丁目13番8号 ケイヒン東大井ビル 3F TEL:03-5767-6461(代表)

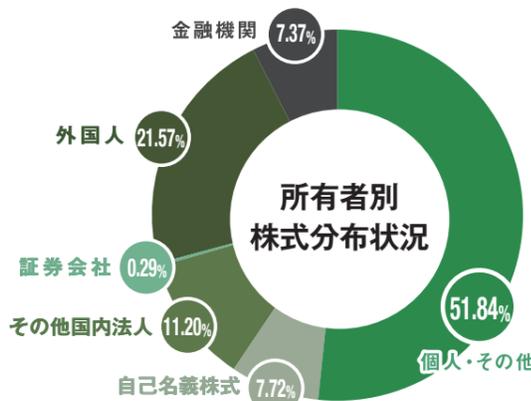
株式の状況

|          |                                 |
|----------|---------------------------------|
| 発行可能株式総数 | 24,000,000株                     |
| 発行済株式の総数 | 9,997,074株<br>(自己株式835,926株を除く) |
| 株主数      | 2,545名                          |

大株主

| 株主名   | 持株数(株)    | 持株比率(%) |
|---|-----------|---------|
| 内藤 秀雄   | 2,307,600 | 23.08   |
| 内藤 剛  | 786,000   | 7.86    |
| 株式会社乃村工藝社   | 686,848   | 6.87    |
| NORTHERN TRUST CO.(A/VFC) RE NON TREATY CLIENTS ACCOUNT | 615,900   | 6.16    |
| 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)                                 | 554,000   | 5.54    |
| Goldman Sachs Bank Europe SE, Luxembourg Branch         | 478,500   | 4.78    |
| 株式会社Shu Management                                      | 400,000   | 4.00    |
| FCP SEXTANT AUTOUR DU MONDE                             | 400,000   | 4.00    |
| 合田 利恵   | 378,000   | 3.78    |
| CACEIS BANK FOR (EQUITIES) NON TREATY UOITS CLIENTS     | 281,400   | 2.81    |

(注) 1. 当社は、自己株式835,926株を所有しておりますが、持株比率は自己株式を除いて計算しております。  
2. 持株比率は小数点第3位以下を切り捨てて表示しております。



連結財務ハイライト

■連結貸借対照表より (単位:千円)

| 科目    | 第38期      | 第39期      |
|-------|-----------|-----------|
| 資産合計  | 7,059,773 | 8,302,017 |
| 負債合計  | 4,105,112 | 4,629,098 |
| 純資産合計 | 2,954,660 | 3,672,919 |

■連結損益計算書より (単位:千円)

| 科目              | 第37期       | 第38期       | 第39期       |
|-----------------|------------|------------|------------|
| 売上高             | 16,434,392 | 19,408,149 | 22,354,475 |
| 経常利益            | 923,082    | 1,054,694  | 1,259,134  |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | 571,101    | 687,999    | 861,928    |

第39期 株主通信

2023.3.1 ▶ 2024.2.29

証券コード: 6086

BUSINESS REPORT

シンメンテホールディングス株式会社



ごあいさつ



代表取締役会長兼社長  
内藤 秀雄

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社グループは、大手飲食チェーンや物販・小売業等チェーン店舗を展開する企業向けに、チェーン本部に代わって店舗のメンテナンスを行うことを主たる業務としています。メンテナンスのニーズそのものは、店舗・施設の設備・機器及び内外装等の存在がある以上、底堅いものがありますが、一方で、厳しい経営環境が継続している状況下では、お客様の店舗・施設運営におけるトータルコストの低減の重要度が従来にも増して上がってきています。

当社グループの競争優位性は、店舗・施設のトラブルの内容にかかわらず、メンテナンスに詳しい専門スタッフが一元的に依頼を受け付ける「ワンストップ」、業界最大規模の全国メンテキーパーネットワークを駆使してトラブルを迅速に解決する「スピーディー」、そして、規模の経済を活かしたメンテナンス

コストの最適化による「ローコスト」なサービスを提供できることです。さらに、これまでに蓄積してきた膨大なメンテナンスデータを活用したメンテナンス計画の提供によってトラブルに備え、店舗・施設運営への影響を極小化しています。こうした競争優位性やサービスの特徴を最大限に発揮して、これからもお客様の店舗・施設運営のベストパートナーとなることを目指してまいります。

当社グループは、経営理念に「夢新」(むしん、ゆめあらた)を掲げて、常に新しいことにチャレンジし続けてまいりました。これからも豊かな人生、豊かな社会の実現という夢をもち、新たな挑戦を続ける集団でありたいと考えています。

今後とも株主の皆様のご期待に添えられるよう、日々精進してまいりますので、変わらぬご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

IRインフォメーション

株主優待制度

●対象となる株主様  
毎年2月末日現在の株主名簿に記載または記録された株主様のうち、当社株式を1単位(100株)以上保有されている株主様を対象といたします。

●株主優待の内容

| 保有株式数           | 優待内容                              |
|-----------------|-----------------------------------|
| 100株以上、500株未満   | 全国共通お食事券ジェフグルメカード<br>500円相当分の交付   |
| 500株以上、1,000株未満 | 全国共通お食事券ジェフグルメカード<br>1,000円相当分の交付 |
| 1,000株以上        | 全国共通お食事券ジェフグルメカード<br>3,000円相当分の交付 |

※「全国共通お食事券ジェフグルメカード」とは、全国35,000店舗の加盟店でご利用いただけるお食事券です。

●贈呈時期

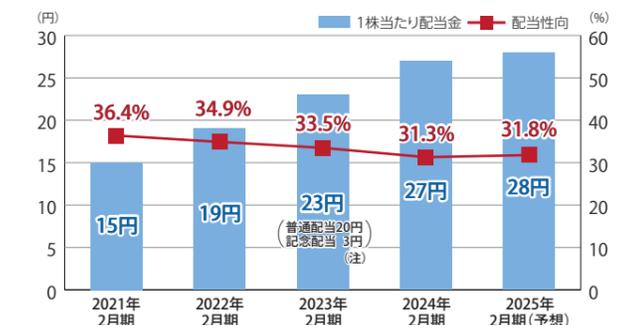
毎年、定時株主総会終了後にお送りする「定時株主総会決議ご通知」とともに発送しております。



配当につきまして

●配当原資確保のための収益力を強化し、継続的かつ安定的な配当を行うことを基本方針とし、配当と株主優待の総合的な株主還元を強化していくことを目指します。

1株当たり配当金と配当性向



(注) 上場10周年の記念配当を実施いたしました。

## コロナ禍で勝ち得た信頼をもとに、過去最高の売上高、利益を更新

**Q** 2024年2月期の取り組みと業績についてお聞かせください。

**A** コロナ禍において継続してきた感染症予防体制、24時間の依頼受付窓口そして営業体制のもと、徹底して顧客に寄り添う体制を維持したことから、業界内のシェアを向上させることができました。また、コロナ禍において店舗・施設での空調・換気システムへの関心が高まり、メンテナンス需要が増加したことに伴い、空調案件専門チームを組成して対応した結果、新規顧客の受注獲得、既存顧客の拡大にも成果が上がりました。これらコロナ禍において構築した顧客からの信頼をもとに、さらなる顧客基盤の拡充に努めています。また、飲食業界以外の業界へのビジネスを拡大する活動につきましては、これまで以上にドラッグストア、介護事業者、物販・小売業などへ向けてサービス提供を行い、これまでに手掛けていなかった業態への販売促進活動を強化した結果、既存顧客の拡大に加え、新たな顧客を獲得しています。

以上の結果、2024年2月期の売上高は223億54百万円(前期比15.2%増)、経常利益12億59百万円(同19.4%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は8億61百万円(同25.3%増)となりました。

**Q** 今後の取り組みと2025年2月期の業績予想をお聞かせください。

**A** メンテナンスサービス事業は、国内で5,000億円超のマーケットがあると考えています。事業の

柱となる飲食業界は勿論のこと、物販・小売業、介護業界、理美容業界、保育事業者、ホテル業界、自治体/公共事業の施設など、幅広く業界を分析の上、拡大を図ることにより、迅速・確実な成長を目指してまいります。

2025年2月期の業績予想につきましては、不透明な事業環境が継続すると想定した上で、売上高241億71百万円(前期比8.1%増)を見込んでいます。利益面につきましては、資材価格の上昇や賃上げによる人件費の増加を購買力の強化や増収によって補い、営業利益13億円(同3.6%増)、経常利益13億円(同3.3%増)、親会社株主に帰属する当期純利益8億80百万円(同2.1%増)を見込み、売上高、利益ともに、引き続き過去最高を更新する予想です。

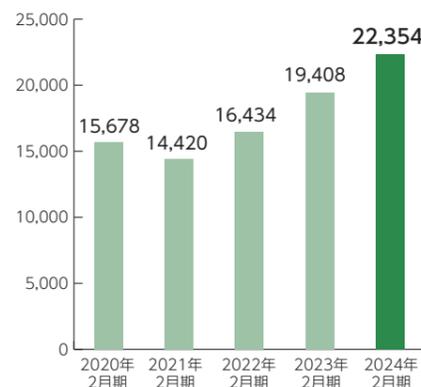
**Q** 最後に株主の皆様へのメッセージをお願いいたします。

**A** 当社は、株主様への利益還元について、配当原資確保のための収益力を強化し、継続的かつ安定的な配当を行うことを基本方針としています。2024年2月期の期末配当につきましては、業績の結果が予想を上回ったことや今後の経営環境を総合的に勘案し、配当予想を上回る、1株当たり27円とさせていただき、前期より4円の増配となりました。2025年2月期の期末配当については、1株当たり28円を予定しています。

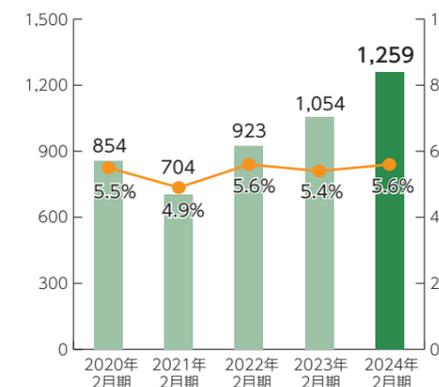
株主の皆様には、引き続きより一層のご支援・ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

## 業績ハイライト

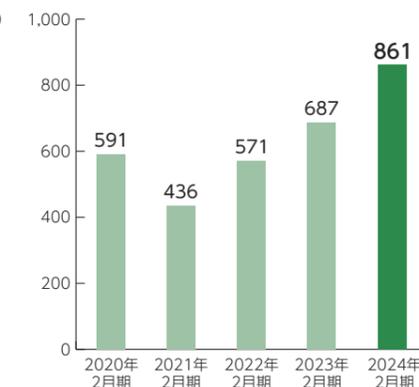
売上高(百万円)



経常利益(百万円) / 経常利益率(%)



親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)



## 特集

# 新会社「シンロボサービス株式会社」を設立し、ロボット洗浄事業をスタート

業務用エアコンの分解洗浄は3K(きつい、汚い、危険)な業務と言われ、その担い手不足が懸念されています。一方で、コロナ禍において空調システムに対する予防メンテナンスの需要は高まり、その傾向は今も継続しています。

当社グループではコロナ前の2018年より、エアコン洗浄ロボットの開発、製造、販売等を手掛ける日菱インテリジェンス株式会社と業務用エアコン洗浄ロボットのサービス提供を共同推進してまいりました。2023年7月には100%子会社のシンロボサービス株式会社を設立するとともに、同社へ同年8月に日菱インテリジェンスから業務用エアコン洗浄ロボット事業を譲受け、新たにロボット洗浄事業をスタートさせました。シンロボサービスは、同年9月より営業を開始し、エアコン洗浄ロボットの普及によって、担い手不足と高まる需要に対応し、顧客からの信頼に応えてまいります。



### 業務用エアコン洗浄の課題

- 業務用エアコンの分解洗浄業務は、3K(きつい、汚い、危険)とされています。
- 企業では、SDGs活動が定着し、環境への配慮、“エコ”に繋がる施策が奨励されています。
- 電力コスト削減、クリーンな空気に対する要求が高まる一方、労働人口減少を背景に、洗浄の担い手不足が懸念されています。



ロボットによるエアコン洗浄は、「誰でも」「均一品質」を実現できる画期的な解決策！

### ロボット洗浄事業の現状

- 計画通りに10台の洗浄ロボットを製造し、市場投入を開始しています。
- 「お試しキャンペーン」にて、飲食、介護等のお客様に現場を見ていただいたところ、リピート発注をいただく等、好感触を得ています。
- コアとなる協力業者の育成と拡大に努めています。

### ロボット洗浄事業の今後

- 2025年2月期に30台、近い将来100台/年の生産を計画通り推進してまいります。
- 協力業者の育成と拡大を図り、サービス提供能力をさらに高めてまいります。
- 安定したサービス提供のための品質マニュアル整備を進めてまいります。



業務用エアコン洗浄サービスで圧倒的なシェアを獲得！



業務用エアコン洗浄ロボット